

2025年度全国がん検診指導者研修

○概要

受講期間：2025年9月17日（水）～2026年1月30日（金）【申込期限：1月16日（金）】

開催方式：eラーニング（教育研修管理システム <https://learning.ganjoho.jp/rpv/>）

目的：がん検診における地域の課題解決を適切に指導するための知識や、がん部会の適切な運営方法等（主に医師向けの内容）指導者に必要な知識とスキルの習得を目指します。

- 受講対象：① 都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会
（胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会）の関係者（部会長、副部会長等）
② 医師会関係者
③ 都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関職員（本研修の主な受講対象ではありませんが受講可能です）

受講料：無料

申込方法等の詳細はがん情報サービスをご参照ください。

https://ganjoho.jp/med_pro/training/official/cancer_screening_leadership/2025.html

事務局：国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室

○プログラム

| 講義名 | 動画の構成 | | 講師 |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------|
| 第1章 検診と診療の違い★ | ・臨床医の多くが陥りがちな検診と診療のセットアップの違い （有病率が異なる点） ・集団医療と個別医療の違い | 11分 | 前田 寿美子 （独協医科大学） |
| 第2章 がん検診の原則★ | Wilson & Jungerの原則 ・検診の目的 ・有効性の評価 ・感度／特異度（トレードオフの関係） ・受容性 ・キャパシティ | 10分 | 鶴田 智彦 （香川大学） |
| 第3章 がん検診の利益と不利益★ | ・がん検診の利益 ・がん検診の不利益 （偶発症、偽陽性による精神的負担、過剰診断） ・利益／不利益バランス | 15分 | 大田 浩司 （福井県立病院） |
| 第4章 がん検診プログラム導入時の検討事項※ | ・国指針での推奨の受け捉え方 ・導入に向けての検討項目 | 10分 | 中山 富雄 （国立がん研究センター） |
| 第5章 がん検診精度管理（マネジメント）の意義と要点※ | ・がん検診の精度管理とは ・精度管理の指標と手法 ・精度管理における関係機関の役割 ・がん部会に求められる活動 | 13分 | 小池智幸 （東北大学病院） |
| 第6章 がん検診事業の評価と改善指導の実例※ | ・自治体や検診実施機関への助言・指導 ・検診事業をどう評価するか？ ・具体的な助言例 | 10分 | 中山富雄 （国立がん研究センター） |
| 第7章 SDM（Shared Decision Making, 共同意思決定） | ・インフォームド・コンセントとSDMの基本概念 ・患者参加と価値観を尊重した検診の選択 ・PSA検診を例にみる利益と不利益・SDMの意義 | 13分 | 濱島 ちさと （帝京大学） |

※2024年度に収録したものです。2024年度に本講義を受講された方につきましては、内容が重複しますことをご了承ください。

★2024年度に収録した内容を一部更新したものです。2024年度に本講義を受講された方につきましては、内容が一部重複しますことをご了承ください。

○問い合わせ先

- eラーニングの操作方法等、教育研修管理システムに関する問い合わせ

国立がん研究センター研修事務局（オスカー・ジャパン株式会社内）TEL:0422-24-6818（平日10:00～12:00、13:00～16:00）

お問い合わせフォーム（クリックすると問合せフォームが開きます。）

- 研修内容に関する問い合わせ（メールでお送りください。）

国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室 E-mail: seminar-scr@ncc.go.jp